

歴史と文化、
豊かな自然、
それだけじゃない
奥大和を
キミは知ってる？

奥大和

〈奈良県南部・東部市町村〉

Recruiting



採用ガイドブック

奥大和の職員が伝える
市町村職員のしごと

住み続けたくなる 訪れたくなる 力強いまちづくりに 動き始めた奥大和



～奥大和（おくやまと）とは～

「奥大和」は、奈良県南部・東部の19市町村を指す言葉です。山岳地帯の南部、高原が広がる東部からなるこのエリアは、人口が集中する県北西部の奈良盆地とは対照的に、雄大な自然の中に集落が点在しています。世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」など修験道の聖地として長い歴史をもち、近畿最高峰の山々や冷涼な高原、川沿いに湧く温泉など美しい自然が広がっています。伝統的な祭りや風習、手仕事の技術が代々受け継がれ、その知恵や文化が人々の暮らしに息づいています。



<南部エリア>

五條市、御所市、高取町、明日香村は、奈良盆地の南端から山あい位置し、電車など公共交通機関が比較的充実しています。歴史的風景や素朴な町並み、生活の利便性も魅力です。

吉野町、大淀町、下市町は吉野郡の玄関口。鉄道や主要道路が通っており、アクセスも良好で、街に近い田舎暮らしが可能です。

黒滝村、天川村、川上村、東吉野村は、奈良県の中ほどに位置しています。水に恵まれ、釣りや川遊び、キャンプなどのアウトドアを楽しむ人々が賑わっています。

野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村は、南部の標高が高い山間に位置し、夏は涼しく、冬は凜とした寒さに包まれます。歴史ある寺社や温泉、雲海や星空といった自然に恵まれた地域です。

<東部エリア>

宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村は、奈良県東部の山々に抱かれた高原エリアで、地形と気候を生かして、高原野菜や大和茶などの農産物の生産が盛んです。美しい里山に囲まれ、宝生寺やめめえ牧場、曾爾高原、三峰山など、自然・歴史・癒やしを感じられる地域です。



～動き出した奥大和の挑戦～

奥大和は美しい自然と豊かな歴史文化に恵まれた魅力あふれる地域ですが、人口減少や担い手不足など多くの課題を抱える地域でもあります。市町村職員は、これまで大切に受け継がれてきた人々の暮らしに寄り添いながら、これからの暮らしを守るために挑戦し続ける、難しいからこそ、とても「やりがい」のある仕事です。私たちと共に、楽しみながら挑戦してくれる仲間を募集しています。



～奈良・奥大和の魅力を知る Web サイト・SNS 4 選～



奈良・奥大和移住相談と魅力紹介ポータルサイト

<https://www.pref.nara.jp/site/okuyamato/index.html>

奥大和地域への移住相談や、観光などの魅力発信、仕事、住まいなど暮らしに役立つ情報をとりまとめたサイトです。移住者やものづくりに携わる人々のインタビュー記事、ヒト・モノ・場所を繋ぐ地域活性化プロジェクトなども掲載しています。

奥大和ライフジャーナル

<https://okuyamato-journal.com/>

「奥大和ライフジャーナル」は、奥大和で暮らす、関わる人々が、自らの言葉で地域の魅力や暮らし、コミュニティなどについて編集・発信するローカルメディアです。都市側でつくられるローカル情報ではなく、ローカル側から生まれる情報を通じて、積み重なる奥大和の今を書き残し、伝えています。



nara_okuyamato (奈良県奥大和Instagram)

https://www.instagram.com/nara_okuyamato?igsh=MW530Dh2eXRkYTdq2w==

奥大和地域の公式Instagramアカウントです。奥大和で開催される観光やアウトドアのイベント、移住や地域活性化の体験プログラム、東京や大阪などで開催される特産品の販売会など、奥大和の魅力を知ってもらうための情報を随時発信しています。

奈良・奥大和 観光公式 (YouTube チャンネル)

<https://www.youtube.com/@nara.okuyamato>

吉野の千本桜、天川の洞川温泉街、十津川の湍峡、曾爾の高原、宇陀・五條・御所の古い町並み、明日香の古墳や棚田など、四季の絶景とローカル体験を動画で紹介。ハイキング、サイクリング、温泉、食、祭り、エコツーリズムなど旅のヒントをお届けします。



次のページからは
奥大和のプロ、市町村職員が仕事のやりがいや
地域の魅力を教えてくれるよ



Professionals about Okuyamato

奥大和〈奈良県南部・東部市町村〉のプロ！19市町村職員が伝える 市町村職員のしごととやりがい

奥大和で働く市町村職員は、地域の魅力、人々の暮らしを守りながら未来へつなぐ役割を担っています。「暮らしをもっと良くしたい」「この地域の魅力をもっと多くの人に伝えたい」—そんな思いを形にできる仕事です。

今回は、奥大和の現場で活躍する若手・中堅職員が、「志望動機」「仕事のやりがい」「おすすめしたいところ」について語ります。

奥大和だからこそ味わえる仕事の魅力を、あなた自身の目で確かめてみてください。



南部
エリア

五 條 市

令和6年4月入庁
産業観光課
事務職

7万人の大規模イベントを担当できる喜びがあります。

◎ 入庁の動機・きっかけは？

私の出身地は愛知県の知多市なのですが、昔から神社仏閣や歴史に興味があり、また山の風景が好きだったこともあって、大学受験の時も奈良県の大学を候補に挙げていました。その頃から奈良で暮らしたいという思いが強くなり、働くなら奈良だと思っていました。中でも五條市役所は観光事業を通して市内外の人と関わる機会が多く、五條市の良さを広く伝えることができると感じて就職を決めました。今は地域に貢献できることを嬉しく感じながら、学んできたことや経験を生かして働いています。

◎ 現在の仕事のやりがいを教えてください

市外への魅力発信や市内イベントの企画・運営に携わっています。五條市は面積が広く、それぞれの地域の持ち味をどう発信するかを考える楽しさがあります。吉野川祭りのような大規模イベントは推定7万人が訪れ、準備から当日まで慌ただしさもありますが、その分

歴史好き必見の神社仏閣や
おしゃれなご飯屋さんなど、
推しスポットがたくさんあります。



◎ 1日のスケジュール

- 8:30 **メールチェック**
一日の仕事の確認を行います。
- 9:00 **観光客の実態調査**
観光客数や来訪目的などの観光客の情報をデータ化します。
- 10:00 **イベントの調整**
イベント出展業者、主催者との調整。必要書類や販売物の確認などを行います。
- 12:00 **昼休み**
基本的には自席で昼食をとっています。ときには来客や電話の対応をすることもあります。
- 13:00 **各種支払い**
各観光施設の維持管理経費（水道・光熱費）などの支払処理を行います。
- 14:00 **観光パンフレットの配布・郵送**
観光案内所や各施設へパンフレットを配架したり、問い合わせに応じて観光パンフレット・資料などを送付します。
- 16:00 **イベントの準備**
イベントに必要な物品の確認や調達、車への積み込みを行います。
- 17:15 **退勤**

採用に関するお問合せはこちら

五條市人事課
TEL.0747-22-4001
平日 8:30~17:15



南部
エリア

御 所 市

令和4年4月入庁
まちづくり推進課
建築職

商店街の活性化や生活環境の整備など、生活に密着した仕事にやりがいを感じます。

◎ 入庁の動機・きっかけは？

天理市出身で、学生の頃からまちづくりに関わる仕事を志していました。地元である奈良県に貢献したいという思いから、地域の暮らしを支える役割を担える職場を探し、御所市役所への就職を決めました。大規模な開発ではなく、まちに寄り添うような小さな発展に関わりたいという希望があり、特に商店街の活性化や生活環境の整備といった、人々の暮らしに近い仕事に魅力を感じています。住民の声に耳を傾けながら、地域の未来を支える基盤づくりに携われることにやりがいを感じ、日々の業務に向き合っています。

◎ 現在の仕事のやりがいを教えてください

担当しているのは生活に欠かせない都市計画に関する業務です。人々の暮らしの基盤を形作る重要な仕事であり、大きな責任と同時にやりがいも感じています。他市や他県から移住してくる方の住まいや、店舗・事業所の新設に関する相談を受けることも多く、

その際はご本人や周辺住民の皆さまが安心して暮らせるよう、安全面などを丁寧に説明し、寄り添う姿勢を大切にしています。まちの発展を支える基盤づくりに関わることが、日々の励みになっています。

◎ これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

御所市はベッドタウンとしての利便性を持ちながら、自然や古いまち並みが身近にあり、落ち着いた暮らしができる環境が整っています。歩きやすい道が多く、散歩しながらまちの表情を楽しめる点も魅力で、古くから続く店と新しい店がほどよく混在しています。地酒「風の森」を使ったスイーツや御所柿など名産品が多く、訪れる人にも喜ばれる地域です。市役所周辺では新しいお店も増えており、これからの発展が楽しみです。暮らしと自然、そして温かい地域の雰囲気や調和した御所市は、生活のしやすさを求める人に特に最適な場所です。



奈良北部や大阪など都市部に
アクセスしやすく、
仕事もプライベートも充実できます。

◎ 1日のスケジュール

- 8:30 **朝礼・メールチェック**
課内の一日のスケジュールを確認します。
- 9:30 **打ち合わせ資料の作成**
打ち合わせをすることが多いため、そのための資料作りをします。
- 12:00 **昼休み**
食事の後、よく外に出て、同期と歩いています。
- 13:00 **申請書類の確認**
業者からの申請や届出が多いため、その書類の確認や手続きを行います。
- 15:00 **打ち合わせ**
業者との相談や奈良県と都市計画に関する協議など、入念に打ち合わせをすることが多いです。
- 17:15 **退勤**

採用に関するお問合せはこちら

御所市人事課
TEL.0745-44-3016
平日 8:30~17:15



南部
エリア

高 取 町

平成31年4月入庁
総務課
事務職

歴史と四季の移ろいを身近に感じられるこの町の暮らしを支える“縁の下の力持ち”。

◎ 入庁の動機・きっかけは？

私は高取町で生まれ育ち、小さい頃から“地元が好きだ”という気持ちがずっと根っこにあります。“地元のために役に立ちたい”と思い、最初は奈良県内の信用金庫で約4年間働いていましたが、次第に、もっと暮らしの近くで住民の方と関わりたいと思うようになりました。そこで、地域の皆さまの日常を支え、いろいろな部署の人と協力しながら住みよいまちづくりに携われる役場の仕事に魅力を感じ、高取町役場への転職を決めました。今思えば、「高取町のために」というシンプルな思いが、ずっと進路の軸になっていたのだと感じています。

◎ 現在の仕事のやりがいを教えてください

総務課では入札事務や人事給与を担当しており、役場全体と地域の暮らしを支える“縁の下の力持ち”でいることにやりがいを感じています。大きな自治体と違い、一人で幅広い業務に関わるので、自分の興味や得意分野を活かして成長できるのも魅力です。数字を

扱う仕事だからこそ責任は重いですが、その分だけ達成感も大きいと感じます。選挙業務など民間では経験できない仕事に携われるのも、この仕事ならではの面白さです。住民の皆さまの暮らしに良い変化を届けられたと実感できたとき、この仕事を選んで良かったと思います。

◎ これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

高取町で働いていて感じる魅力は、例えば新生児に対して紙おむつが2ヵ月に1回2,000円相当支給されたり、第二子以降の保育料が無償になるなど、子育て世代には心強い制度があります。また、高取城跡をはじめとした歴史的な文化財や、紅葉の美しい山並み、町家のひな巡りやお城まつりなどのイベントを通じて、日常の中で歴史と四季の移ろいを身近に感じられるのも、この町ならではの魅力だと思います。小さな町だからこそ、職員同士や住民の方との距離も近く、子どもを育てながら安心して働ける環境が整っていると感じています。



「町家のひな巡り」や
「お城まつり」は
ぜひ一度みてほしいです。

◎ 1日のスケジュール

- 8:30 **出勤 職員の出勤状況の確認、残業申請のチェックなど**
朝礼後、メールをチェックして業務準備をします。全職員の出勤状況や残業申請を確認し、業務管理や調整を行います。
- 10:30 **事務処理、問い合わせ対応など**
証明書発行や給与計算処理など多岐に渡る事務処理を行います。また住民の方や業者からの問い合わせにも対応します。
- 12:00 **昼休み**
職員同士でコミュニケーションを取ったり、グラウンドを散歩したりして、リフレッシュします。
- 13:00 **会議、庁舎管理**
様々な分野の会議に出席。会議を主催することもあります。庁舎備品の調達など役場全体の管理もします。
- 17:15 **退勤**
残業は時期により増減します。特に選挙期間中や給与計算の締切前は残業することがあります。

採用に関するお問合せはこちら

高取町総務課
TEL.0744-52-3334
平日 8:30~17:15



自然や古いまち並みの美しさに惹かれ、明日香村役場で働こうと決めました。

Q 入庁の動機・きっかけは？

大阪で暮らしていた頃から、明日香村の自然や風景、そして古いまち並みの美しさに心を惹かれていました。中学生の頃に家族で奈良に引っ越してから明日香村を訪れる機会が増え、村の穏やかな空気や人々の温かさに触れるうちに、この場所で地域に貢献できる仕事があったという気持ちが強くなりました。歴史や文化を大切に守り続ける明日香村の魅力を、自分の働きを通して伝えていけたらと思い、役場の採用に応募しました。現在、憧れていた村の一員として働けることに、日々やりがいを感じています。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

教育推進課で、学校教育から生涯学習まで、幅広く教育に関する仕事を担当しており、さまざまな経験を積むことができます。また地域の子どもたちと接する機会も多く、一人ひとりの成長を間近で感じられることが何よりのやりがいです。授業や行事を通して、

子どもたちの笑顔や「ありがとう」という言葉に触れるたびに、地域の未来を担う子どもたちと共に成長できていると実感します。まだ覚えることも多いですが、上司や先輩の支えの中で学びを重ねながら、いつか自分も頼られる存在になりたいと思っています。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

明日香村は小さな村だからこそ、地域の大人の目が子ども一人ひとりに行き届いています。教育や子育てに関する支援も手厚く、家族で安心して暮らせる環境が整っています。職場では仕事をしながらでも子どもの送り迎えがしやすく、困ったときは職員同士が自然と助け合う雰囲気があります。史跡巡りや自然散策など、休日も充実して過ごせるのが魅力です。四季折々の風景が美しく、地域行事を通して人とのつながりを感じられる明日香村は、暮らしと仕事のバランスを大切にしたい人におすすめの場所です。

1日のスケジュール

- 8:30 **メールチェック、スケジュールチェック**
一日の仕事の確認を行います。
- 9:30 **事務作業**
放課後児童クラブの保育料の口座振替事務やスクールバスの管理事務、通学路安全推進会議の資料作成を行います。
- 12:00 **昼休み**
自分のデスクで昼食をとることもあれば、同僚と交流しながら食べる日もあります。
- 13:00 **放課後児童クラブなどの窓口業務**
窓口で、放課後児童クラブ利用者の利用計画変更届の対応や、幼稚園の入園や給食費免除の手続きを行います。
- 17:15 **退勤**

子どもたちの笑顔や「ありがとう」という言葉を聞くと、やりがいを感じます。



採用に関するお問合せはこちら

明日香村総務財政課
TEL.0744-54-2001
平日 8:30~17:15



若手が多く働いているので、同世代同士で協力して仕事ができます。

Q 入庁の動機・きっかけは？

吉野町で生まれ育ち、地元で貢献できる仕事があったという思いから入庁しました。学生時代に自治体職員と一緒に成人式の運営に関わった経験が大きな転機で、住民にとって大切な行事を支える姿を間近で見て、自治体の仕事に強い魅力を感じるようになりました。現在は、10代の頃には触れることの少なかった行政の役割を理解して業務を進めています。地域の消防団にも所属し、町民の方々のつながりを深めながら、常に地域や住民と近い距離で関われるこの仕事にやりがいを感じています。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

産業観光課の職員として、吉野町の魅力を多くの人に伝える仕事にやりがいを感じています。私鉄との連携イベントなど、民間企業と協力して仕事を進めることも多く、対外的なコミュニケーション力が求められる場面もあります。桜の季節には観光客が集中し、幅広い対応

が必要ですが、その分、地域の活気を肌で感じられます。観光客を呼び込む施策を考える面白さもあり、地域の人々と協力しながら多様なイベントを形にしていけることが大きな励みになっています。住民にも観光客にも喜ばれる地域づくりに関われる仕事です。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

吉野町は自然が豊かで、桜や川遊びなど家族で楽しめるスポットが多く、子育て世帯にも魅力的な場所です。神社仏閣も多く、訪れるたびに新しい発見があり、観光客がリピートして楽しめる場所がそろっています。田舎過ぎず、生活のしやすさと自然のバランスが心地よい点もポイントです。近年は高齢者向けのデマンドバスも整備され、移動の利便性が向上しています。移住者も多く、他の地域から来た人が馴染みやすい雰囲気があり、暮らしやすさを求める方におすすめの町です。

1日のスケジュール

- 8:30 **メールのチェック**
夜の間に来ているメールのチェックや今日やることを整理して業務に臨みます。
- 9:00 **事務作業**
担当している観光業務の事務作業を進めていきます。
- 12:00 **昼休み**
基本的にはお弁当を持ってきて自席で食べています。お弁当の配達もあるので忘れても安心です。
- 13:00 **イベントの準備**
秋の時期はイベントが多いため、出展の準備などを進めます。夏などの閑散期は事務や企画を進めます。
- 17:15 **退勤**
残業は嫌いなので定時退庁を目標にしています！

観光客を呼び込むために日々どういった施策が良いか考えるのが楽しいです。



採用に関するお問合せはこちら

吉野町総務課
TEL.0746-32-3081
平日 8:30~17:15



世代を超えて残り続ける建物をつくっていると、大きな責任と誇り、そして静かな達成感を感じます。

Q 入庁の動機・きっかけは？

元々、民間企業で営業職として働きながら建築士の資格を取得し、技術職に転向しました。しかし、営業と現場監督を兼務することになり、仕事内容によっては土日も働くことがあり、日々の業務が忙しくなってきました。その頃に子どもが産まれたことも重なり、ライフスタイルを見直す必要があると考えようになった時に妻から「社会人経験者として公務員試験を受けてほしい」と言われたことがきっかけで転職を考えるようになり、大淀町の職員募集を見つけて応募しました。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

こども園を新築する仕事では、保育園や幼稚園の先生の話聞きながら、先生それぞれの幼児教育スタイルに合わせたレイアウトが組めるように、移動式の家具や照明などを採用しました。また調理室を廊下から見える場所に配置してガラス張りにすることで、園児が調理している様子を興味深く見るようになり、先生や園児にと

て魅力あるこども園にできたと思っています。他にも消防団の施設を建設する際には、建物の外観を制服と同じデザインにすることで、目を引くように工夫。教育・文化・福祉などさまざまな用途の行政施設に携われることにやりがいを感じています。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

土曜日や日曜日が休みの職場なので、子どもの習い事を、家族でサポートすることができます。妻と2人で子育てについて話し合う時間が取れたり、子ども達の行事にも参加できるので、家族との時間を大切にすることが出来ます。また働く点で言えば、大淀町役場は人数が少なく、風通しの良い職場で、何でも話せたり、課の垣根を越えてワークシェアリングを行ったりと支え合う環境があるので、ワークライフバランスも充実できると思います。

1日のスケジュール

- 8:30 **メール・スケジュールチェック**
道路管理では、突発的な業務もあり、係や課内のスケジュールの共有が必要です。
- 9:00 **現場 立会確認**
図面どおりに施工できているかを確認します。
- 12:00 **昼休み**
同僚と交流しながら食事をします。
- 13:00 **図面修正作業**
現場確認時に気付いたことなどを踏まえて図面の修正作業や議事録の作成を行います。
- 17:00 **報告 日報作成**
日報を作成して業務終了です。
- 17:15 **退勤**



安定した環境で働きながら、夫婦と一緒に子育てができる喜びを噛み締めています。



採用に関するお問合せはこちら

大淀町総務課
TEL.0747-52-5501
平日 8:30~17:15



“ちょうどいい田舎”だから、仕事もプライベートもちょうどいいバランスで過ごせます。

Q 入庁の動機・きっかけは？

父が消防士で姉も公務員と、小さい頃から公務員という仕事を身近に感じてきました。当時は漠然と教師か警察官を目指そうと考えていましたが、大学在学中に自身の適性を考えた際、事務職の方が向いていると感じ、役場を就職先として考えるようになりました。就職活動を始めたころ、働くなら「自分と少しでもつながりのある町で働きたい」と思い、母の地元であり、私自身も小さい頃から祖父に会うためによく訪れていた下市町の採用試験を受けました。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

総務課の仕事は人事給与や共済、町長の秘書など幅広く、日々新しい知識を身に付けながら「できることが増えていく」実感が大きなモチベーションになっています。給与担当を経験したことで税金や保険の流れも理解でき、将来、窓口業務を担当するときにも生かせると感じています。また、大学で役場の仕事について講

義をしたり、下市テレビで原稿を読んだり、他では味わえない経験もしました。もともと観光の仕事を担当したいと思っていましたが、総務課での経験を通して、役場を支える仕事地域を支える大事な仕事であることに気づき、視野が広がりました。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

下市町役場では、総務課・住民保険課・税務課などが横断して FM (ファシリティマネジメント) プロジェクトチームをつくり、空き校舎の利活用などを一緒に検討しています。入庁して間もないころの私にとっては、他課の先輩方とコミュニケーションを取れる良いきっかけになりました。町自体は電車で大阪阿部野橋駅まで一本、車なら橿原市や大和高田市にも行きやすく、“ちょうどいい田舎”だと感じています。町民の皆さまもとても温かく、空き家/バンクの利用など住まいの相談にも役場が丁寧に対応していますので、これから住む人にも働く人にも自信を持っておすすめできる環境です。

1日のスケジュール

- 8:30 **メールチェック、1日のスケジュール確認**
自身と課内の予定や、町長の会議、来客などの確認をします。
- 9:30 **案内文書の整理、その時々で抱える事務の処理**
町長が出席する会議の案内文や資料の整理を行い、その後は日によって全く違う業務をしています。
- 12:00 **昼休み**
昼食は自席で取ることが多いです。1時間あるので自分の用事を済ませたりすることもあります。
- 13:00 **各種書類作成**
予算や人件費に関する各種資料を作成しています。
- 16:30 **業務の確認**
1日の業務で完了したこととそうでないものを洗い出し、明日の業務に備えます。
- 17:15 **退勤**



まさか公務員になってから、アナウンサーとして原稿を読むとは夢にも思いませんでした。



採用に関するお問合せはこちら

下市町総務課
TEL.0747-52-0001
平日 8:30~17:15



黒滝村

平成26年4月・令和2年5月入庁
子ども園 保育士

黒滝村の豊かな自然をフルに活用できる子どもにも働く私たちにも最高の環境です。

Q 入庁の動機・きっかけは？

(U.M.)もともと黒滝村に自然がたくさんあることを知っていて、そのような自然豊かな環境で、子どもたちとのびのび過ごしたいという思いから応募しました。子どもたちの笑顔を守りながら、地域の一員として成長できる環境にも魅力を感じて決めました。

(I.A.)黒滝村では川遊びをしたり、雪遊びができてりと、豊かな自然を保育に活かしている点に魅力を感じて働くことを決めました。2年動いた頃に正規職員の募集があり、「ぜひともこの黒滝こども園で働きつづけたい」と考え、現在は正規職員として働いています。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

黒滝こども園で働いていて感じる一番のやりがいは、子どもたちの「できる」が増える瞬間に立ち会えることです。入園当初は不安そうだった子が、自分で考えて挑戦し、笑顔で過ごせるようになる姿を見られるのは本当に嬉しい瞬間です。園児が少ないので、一人ひとりの個性や成長に合わせたきめ細やかなサポートがで

きますし、職員同士もよく相談し合える温かい雰囲気があります。地域の行事を通して保護者や住民の方とも顔が見える関係になれるところも、この園で働く大きな魅力だと感じています。毎日小さな変化を見つけるのが楽しみです。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

黒滝村で働く一番の魅力は、自然をそのまま保育や地域活動に生かせることです。黒滝こども園では、川遊びや畑ごとなど、四季の体験を子どもたちと一緒に味わえます。運動会は小中学校と合同で行い、地域の方も参加してくれるので、人のあたたかさを日々実感できます。修学旅行や遠足が無料になるなど教育面の支援も手厚く、子育て世代には安心して暮らせる環境だと思います。檜原市など近隣から車通勤している職員もいますし、自然に囲まれながら、地元で貢献したい人にはとてもおすすめの職場です。

カブトムシは買わなくても夏になれば園庭ですぐに捕まえることができます。



1日のスケジュール ※時間は早出の場合

- 7:15 出勤・園内準備
園庭や保育室の安全確認、環境整備、保育計画の最終確認を行います。早番の子どもたちを笑顔で迎えます。
- 8:30 登園・自由遊び
子どもたち一人ひとりの体調を確認しながら、室内や園庭と一緒に自由遊びをします。
- 10:30 一斉活動
季節の制作や自然体験、戸外遊びなど、クラスで一斉活動を行います。
- 11:30 給食準備・昼食
給食の準備・配膳を手伝いながら、食事のマナーを教えたり、好き嫌いなく食べられるようにサポートします。
- 13:45 帰りの会、午睡(休息時間)
幼稚園のスクールバス降園に合わせて絵本の読み聞かせをしたり、保育園児は昼頃から年齢に応じて午睡を取ります。
- 15:00 おやつ・帰りの会
おやつを楽しく食べられるように見守ります。保育園児の降園の準備をサポートします。
- 降園対応・延長保育
別職員に引き継ぎ。
- 16:00 退勤



採用に関するお問合せはこちら

黒滝村総務課
TEL.0747-62-2031
平日 8:30~17:15



天川村

平成26年4月入庁
健康福祉課 保健師

村民の方々とゆっくり時間をかけてお話できることは、何ものにもかえがたい経験です。

Q 入庁の動機・きっかけは？

出身は御所市で、学生時代は看護師を目指して勉強していましたが、病氣やけがを治すだけでなく、日々の暮らしの中で健康を守る保健師の仕事に魅力を感じるようになりました。地域に寄り添い、予防を中心に住民の生活を支えるほうが自分に向いていると感じ、小さな村で働きたいという思いもありました。その中で保健師の募集がきっかけで天川村を知り、自然豊かな環境で住民の健康を支えられることに魅力を感じて就職を決めました。地域の暮らしに密着した仕事ができることに、大きなやりがいを感じています。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

保健師として、住民一人ひとりの暮らしに寄り添いながら健康支援を行っています。高齢者と接する機会が多い一方で、子育て世代や若い人など幅広い世代と関わることが、この仕事の魅力です。健康教室を実施すると「ここに来るのが楽しい」や「またこんな教

室をしてほしい」と声をかけてもらえることも多く、心のケアまで担える喜びがあります。家庭訪問では赤ちゃんのいる家庭にも伺い、家族全体の健康を見守れることにやりがいを感じます。相手の話を丁寧に聞き、その人の生活に合った支援を考えることを大切にしています。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

天川村は規模が小さいからこそ、人との距離が近く温かいコミュニティが根づいています。自然が豊かで、川遊びや紅葉など四季の楽しみが多く、洞川温泉街やキャンプ場など観光施設も充実しています。県外や村外から移住してくる方々にも優しく接してくれる住民が多く、子育て世帯が増えているのも特徴です。都会に比べると便利さでは劣るかもしれませんが、整った自然環境の中でゆっくりと暮らせる魅力があります。日常の中で自然と触れ合いながら生活したい人には、特におすすめできる環境です。

春や秋はキャンプ、夏は川遊びなど、四季折々で楽しめる場所があります。



1日のスケジュール

- 8:15 メールチェック
業務に関係のあるメールと一日の仕事内容を確認します。
- 9:00 教室の実施
介護予防などの健康教室を行います。
- 12:00 昼休み
保健センター内で一緒に働いている課内の人たちと昼食をとっています。
- 13:00 家庭訪問
赤ちゃん訪問や支援が必要な家庭への訪問を行います。
- 15:00 訪問記録の作成
訪問での聞き取りや指導内容を記録します。訪問内容を上司に報告し、状況次第で課内職員にも情報共有します。
- 16:00 その他の事務処理
今後の事業の準備や国や県に報告する資料の作成などを行っています。
- 17:00 退勤



採用に関するお問合せはこちら

天川村総務課
TEL.0747-63-0321
平日 8:15~17:00



野迫川村

令和7年4月入庁
産業課 事務職

人口減少が進む現状を何とか止めたい！その思いが私の原動力になっています。

Q 入庁の動機・きっかけは？

私は野迫川村出身で、住民に一番近い立場でより良い村づくりに関わりたいと思い、役場に入りました。小さい頃から村の雰囲気や祭りが好きで、大学でも地域の活性化を学び、いつか地元の力になりたいと考えていたのですが、年々祭りの規模が小さくなり、人口減少が進む現状を見て、このままではいけないという危機感が強くなりました。高校入学を機に村を離れた時期もありましたが、結局いつも野迫川のことを考えていて、「もっとこの村が続いていけるように魅力を村外にも伝えたい」と思い、戻ってくる決心をしました。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

観光振興の仕事は、自分で考えたことを形にできるのが一番のやりがいです。物産展などのイベントで特産品の椎茸のホダ木を再利用して作った「森のタンブラー」にお客さんが集まって、野迫川村のブースが賑わっていると嬉しくなります。またふるさと納税に電子

クーポンを活用するなどの自分の提案を、上司がしっかりと聞いてくれるのもやりがいを感じます。他にも出展先で、野迫川村を知らなかった方が興味を持って話しかけてくださったり、「また行きたい」と言ってもらえたりすると、この仕事をしていて良かったと心から感じます。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

野迫川村役場は、小さな村ならではの距離の近さと、自分で考えて動ける自由度が魅力です。上司にも意見を伝えやすく、残業も花火大会などのイベント時以外は多くないので、無理なく働けます。職員の多くが移住者ですが、村民も職員も親切な方が多く、温かく迎えてくれるので、村外から来る方もすぐに馴染める職場だと思います。早朝の雲海や満天の星空など神秘的な自然と、人の暖かい心に分れることのできる野迫川村の未来をぜひ一緒に考えましょう。



椎茸のホダ木を再利用して作った「森のタンブラー」を私が野迫川村の人気商品にします(笑)。

1日のスケジュール

- 8:30 メールチェック
1日のスケジュールを確認します。
- 9:00 事務作業
電話やメールの問い合わせに対応したり、担当業務に関する資料作成を行います。課長、先輩職員との打ち合わせもあります。
- 12:00 昼休み
お弁当を持ってきて先輩と食べたり、近くの食堂へ食べに行ったりします。仕事以外の話で盛り上げます。
- 12:45 事務作業
ふるさと納税の受付業務を行います。寄附があった場合、受領書発行などの手続きを行います。
- 15:00 イベント準備
県外で行われる物産展に出展するため、パンフレットや村の特産品などを準備。観光PRに向けた打ち合わせを行います。
- 17:00 退勤
達成感を感じながら帰路へ(笑)。



採用に関するお問合せはこちら

野迫川村総務課
TEL.0747-37-2101
平日 8:30~17:00



十津川村

令和6年4月入庁
建設課 土木職

利益を考えず、ただひたすらに、十津川村の住民への貢献だけを考えて働けます。

Q 入庁の動機・きっかけは？

もともと都市部で働いていたのですが、いつかは田舎で暮らしたいという思いが強くなり、これからの仕事のスタイルを考えたときに、地域に根ざして働ける役場職員になろうと決意しました。大学では土木を専攻していたので、その専門を生かせる土木技術職を志望しました。いくつかの村の募集を見比べる中で、日本で一番大きな村で、人口規模的に村民の顔を覚えられそうな十津川村なら、腰を据えて働けると感じ、移住を決めました。祖父父母の暮らす環境にも近く、自分の将来像とも重なったのも大きな決め手でした。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

建設課の仕事の一番のやりがいは、日々の業務を通して自分の知識と知見が少しずつ広がっていくを実感できることです。工事発注や施工管理、道路の維持管理など、最初は分からないことだらけでしたが、過去の書類を調べたり上司に相談しながら、自分の手で申請

書や調査書類を最後まで作り上げられた時に大きな達成感があります。広大な十津川村の集落や観光地をつなぐ道路や橋といった生活インフラを整備し、住民の暮らしを支えているという実感も、この仕事ならではのやりがいです。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

十津川村で暮らし始めて感じるのは、自然の大きさと人のあたたかさです。谷瀬の吊り橋や玉置神社など有名な場所が日常の景色の延長にあり、夜は星空が本当にきれいです。ご近所さんとの距離も近く、挨拶や世間話を通じてすぐ顔なじみになりました。移住の際は役場から職員住宅や空き家を紹介してもらえたので、不安はあまりありませんでした。都市部へ出かけるには車で1時間以上かかりますが、運転に慣れてくると、時間は気にならなくなりました。地域に関わりながら働きたい人、静かな環境で、落ち着いた生活をした人、おすすめできる村だと思います。



十津川村の山道で運転技術を磨き、今はミッションの免許を持つまでになりました。

1日のスケジュール

- 8:30 始業
朝礼で課内の連絡事項を共有し、現場へ外出する準備をします。
- 9:00 現場立会・検査など
発注工事の状況確認などのため検査立会を行います。また、道路の通行に支障をきたす連絡を受けた時は現地を確認し、業者に対応を依頼します。帰庁後は、上司へ報告・相談を行います。
- 12:00 昼休み
お弁当を持参しています。庁舎横の道の駅で買ってくることもできます。
- 13:00 庶務
電話や窓口対応のほか、国や県依頼の調査の回答作成や、業者から提出があった工事書類の確認などを行います。
- 15:00 工事発注書類作成
積算書・図面・写真など、工事発注に必要な書類を用意し、課内で確認してもらいます。
- 17:15 退勤



採用に関するお問合せはこちら

十津川村総務課
TEL.0746-62-0001
平日 8:30~17:15



生まれ育った下北山村に「形として残るもの」をつくれることが、最大のやりがいです。

Q 入庁の動機・きっかけは？

下北山村役場に就職した一番の理由は、生まれ育った地元で自分の力で貢献したいと思ったからです。昔から、身近な人の役に立つ仕事がしたくて、人々の暮らしを支える行政の仕事に興味を持っていました。大学進学で大阪に出て就職活動も大阪で進め、内定もいただいていたのですが、いずれは地元に戻るつもりでした。ちょうど役場の募集があり、「今だ」と思って試験を受けました。実際に働いてみて、住民の声を直接聞き、自分の関わった仕事が形になっていく姿を見るたびに、自分の判断は間違っていないと感じます。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

農林建設課では道路や橋、公共施設の整備に携わっており、生まれ育った下北山村に「形として残るもの」をつくれることに大きなやりがいを感じています。完成した施設を住民の方が使っている姿を見ると、自分が働いている意義を感じることができます。また下北山村は

少人数の職場なので、若いうちから一つの分野を任せられ、責任ある仕事を通じて日々成長できていると感じます。自分の仕事が暮らしに直結する実感も大きく、この村の未来を支えているという誇りが次の挑戦への原動力になっています。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

下北山村役場は少人数だからこそ、若いうちから道路や橋、公共施設など地域の未来を支える基盤づくりを任せられるので、大きな責任とやりがいを感じることができます。また職員の半分ほどは村外出身者で、その多くが村営住宅や空き家の紹介などのサポートを受けています。下北山村は三重県熊野市との距離が近いので、海の無い奈良でも新鮮な海の幸が食べられるのも魅力だと思います。仕事でもプライベートでも過ごしやすいうち下北山村は、移住を考えている方に心からおすすめです。

バス釣りのメッカの池原ダムには全国から釣り好きが集まってきます。



1日のスケジュール

- 8:30 **メールチェック、外出準備**
一日の仕事の確認、現場立会などの準備をします。
- 9:00 **事務処理**
道路・土地に係る調査関係の事務を行います。
- 10:00 **現場立会**
工事の進捗状況に応じ、立会を行います。
- 12:00 **昼休み**
昼食後に役場周辺を先輩方と散歩しています。
- 13:00 **現場立会、事務処理**
午後からも現場立会などに外出します。外出の予定がない場合は各種調査の対応や会議の資料作成など事務処理を行います。
- 16:00 **報告・整理**
工事の進捗状況などを上司に報告し、一日の仕事の整理を行います。
- 17:15 **退勤**

採用に関するお問合せはこちら

下北山村総務課
TEL.07468-6-0001
平日 8:30~17:15



若いうちから責任ある仕事に挑戦できます。落ち着いた働きながら力をつけたい方におすすめです。

Q 入庁の動機・きっかけは？

前職の仕事を辞めて公務員の仕事を探していたとき、ハローワークでたまたま最初に目に入ったのが「上北山村」でした。「この村ってどんな所だろう」と気になったので、応募する前に車で試してみようことにしました。実家の亀岡からはかなり遠く感じましたが、着いてみると川は驚くほどきれいで、空気もおいしい。お昼ご飯を食べた店では店員の方が気さくに話しかけてくれて、村民の方の人柄の良さに惹かれました。次第に「こんな場所で働いてみたい」と思い、その勢いで翌日には応募、実家を出て移住する決心もつきました。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

出納室の仕事は、給与や口座振替などの締切が近づくと一気に忙しくなり、正確さも求められるので大変です。その分、無事にやり切れたときの達成感があります。毎月同じように見える仕事でも、「次はもう少し早く終わらせよう」と工夫するようにしています。少しずつ

任される範囲が広がっていくことで、自分の成長を実感でき、日々のやりがいになっています。同じ村に住む上司や先輩にすぐ相談できる雰囲気があり、移住したばかりの頃も心強かったです。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

上北山村で働いてみて一番良かったのは、都会の喧騒から離れて、心身ともに穏やかに過ごせることです。移住の際は、役場の方が住まい候補をいくつか用意してくださり、スムーズに村営住宅に入ることができました。都市部では借りられないくらい広い部屋に格安で入居できた時は驚きました。また、役場は小規模だからこそ、一人ひとりに任せられる業務の幅が広く、若いうちから担当分野を持って責任ある仕事に挑戦できます。自然の中で落ち着いた働きながら力をつけたい方にはとてもおすすめです。

自転車レース「ヒルクライム大台ヶ原」には村の人口を超える選手が出場します。



1日のスケジュール

- 8:30 **メール確認**
- 9:30 **支出命令書の確認**
請求書と支出命令書に金額や支払先など相違がないか確認します。
- 12:00 **昼休み**
職場から自宅が近いので、自宅に戻ってお昼ご飯を食べています。
- 13:00 **口座振替の登録・送信**
午前確認したものをシステムに登録し、銀行へデータを送信します。送信前には先輩職員とWチェックを行っています。
- 15:00 **給与支払に向けた作業**
職員の給与支払に向け、各課から提出された書類を確認し、システムに登録します。
- 17:15 **締め作業・退勤**
窓口で受けた納付書などとお金が合っているかを確認して、1日の仕事が終わります。

採用に関するお問合せはこちら

上北山村総務課
TEL.07468-2-0001
平日 8:30~17:15



どうすれば喜ばれるのか試行錯誤しながら、川上村を盛り上げるために頑張っています。

Q 入庁の動機・きっかけは？

川上村を志望した一番の理由は、「人の営みと雄大な自然を支え育む」という村の姿勢に惹かれたからです。川の源流を守るために原生林を買い取り、自治体として保護していることを知り、「こうした取組を支える側に回りたい」と強く思いました。田舎はどこも同じではなく、それぞれに課題と魅力があると思っていたところに、地元の友人の話も後押しになって「地域を盛り上げたい」という思いが高まりました。採用試験の時に初めて訪れましたが、その時にここで働きたいという気持ちが固まりました。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

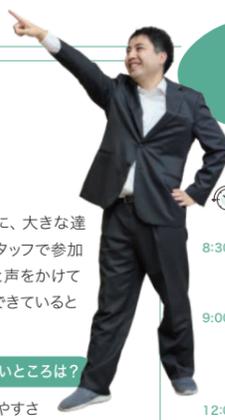
健康福祉課でのやりがいは、子どもから高齢者まで幅広い世代の方と直接関わりながら、自分で考えた施策を形にしていけることです。学童保育や児童手当、長寿祝い、緊急通報装置などを担当する中で、「こうした方が喜ばれるのでは」と試行錯誤し、それが

実際の制度や取組として実現したときに、大きな達成感があります。イベントやお祭りのスタッフで参加した時などに住民の方から「助かるわ」と声をかけてもらえたときも、公務員として村に貢献できていると実感できる瞬間です。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

川上村の魅力は、自然の豊かさと暮らしやすさのバランスです。空気がきれいで、静かに過ごせますし、村営住宅が整っていて、都会では考えられない安さで広い家に住めます。私も1年目は家賃1万円ほどで、約50平米の家に暮らしていました。紅葉や桜を眺めながら仕事に向かえるのも川上村ならではの魅力です。買物は橿原市や桜井市まで車で1時間ほどかかりますが、車に慣れていの人ならそれほど負担には感じません。自然に囲まれつつ、ほどよく街にも出られる暮らしをしたい方には、とてもおすすめの環境です。

入庁1年目の家賃は約50平米で月1万円でした。



1日のスケジュール

- 8:30 **メールチェック**
メールや一日の仕事を確認し、対応が必要なものを順に進めていきます。
- 9:00 **学童事業、課内庶務**
学童利用変更に伴うバスの変更や空月の利用予定の整理などをします。郵便の整理などの庶務も行います。
- 12:00 **昼休み**
庁内の食堂には多くの職員が集まるので業務では接点が少ない職員とも交流しながら昼食をとれます。
- 13:00 **家庭訪問**
各家庭を訪問し、緊急通報装置の電池交換や個別避難計画の案内をします。
- 17:15 **退勤**
残業せず、定時に帰宅できる日が大半です。

採用に関するお問合せはこちら

川上村総務課
TEL.0746-52-0111
平日 8:30~17:15



市街地からのアクセスも良く、自然に囲まれながら落ち着いた仕事ができます。

Q 入庁の動機・きっかけは？

高校卒業まで東吉野村で育ち、地域の人と関わりながら暮らしてきました。近所の人たちに親しく接してもらい、居心地の良い村だと感じていたことから「自分もこの村に貢献したい」という思いが生まれ、役場への就職を志望しました。現在は橿原市から通勤していますが、地元で働けることに喜びを感じています。村で育った経験を活かしながら働けることが大きな励みになっています。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

障がい福祉に関わる部署で、手帳の交付や相談対応など、住民の生活に直結する業務を担当しています。外出が難しい方の自宅を訪問して話を伺うこともあり、一人ひとりの状況に寄り添いながら支援できる点に大きなやりがいを感じます。地元で育ったことも

あり、知り合いの方を担当することも多く、気さくに話せる関係性が仕事に役立っていると感じます。職員が少ないからこそ、多様な業務を経験でき、自分で考えながら丁寧に仕事を進めています。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

東吉野村は自然に囲まれながらも、道路が整備されているおかげで移動の不便が少なく、静かで落ち着いた暮らしができる環境です。人との距離が近く、地域全体で子育て世帯を温かく迎え入れてくれる雰囲気があります。橿原市や桜井市といった市街地からも比較的近く、空き家が多いことから移住者も増えています。住民同士が顔見知りである安心感があり、田舎の暮らしを楽しめる人には特におすすめです。

空き家が多いこともあり、田舎暮らしを求めて、移住される方も多いです。



1日のスケジュール

- 8:30 **朝礼、メールチェック**
課内で朝礼を行い、その後、メールと仕事の確認をしています。
- 10:00 **事業の打ち合わせ**
障がいに関する教室や研修会について、上司や同僚、関係事業所と話し合い、実施に向けて進めます。
- 12:00 **昼休み**
自席で食事することがほとんどですが、実家へ帰って食べたり、近くのお店へ食べに行ったりすることもあります。
- 13:00 **区分認定調査**
障がいサービスを利用するために必要な区分認定の調査を行うため、対象者のご自宅などを訪問します。
- 16:00 **相談対応**
障がいに関する困りごとや、サービスを利用するにあたっての相談に電話や窓口で対応しています。
- 17:15 **退勤**

採用に関するお問合せはこちら

東吉野村総務企画課
TEL.0746-42-0441
平日 8:30~17:15



自分が好きな音楽を使った活動で、将来はまちづくりに挑戦したいです。

Q 入庁の動機・きっかけは？

宇陀市役所を志望した一番の理由は、生まれ育ったまちに恩返しをしたいという思いでした。人口が減っていく現状の中で、「自分も出ていだけじゃ何も変わらない、地元を元気にする側に回りたい」と考えるようになりました。中学生の頃にまち並みボランティアに参加し、歴史的な建物や文化財の魅力を観光客に伝える活動を体験し、「この良さをもっと多くの人に届けたい」と感じたことも大きかったです。大学では音楽を学んできたので、将来は音楽を活かしたまちづくりに挑戦したいと思っています。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

市民課での一番のやりがいは、市民の暮らしを一番近くで支えている実感があることです。出生届や婚姻届、時には離婚届まで、人の人生の節目に立ち会うので、毎日内容も雰囲気も全く違って刺激があります。戸籍やマイナンバーなど難しい手続きも、宇陀市では

一人ひとりに15~20分かけて丁寧に説明しており、「こんなに丁寧に教えてもらえたのは初めて」と感謝の言葉をいただけるのが本当に励みです。手続きの知識は自分の人生にも役立ちますし、老若男女いろんな方と関わる中で、自分も日々成長していると感じています。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

宇陀市役所は、市民一人ひとりに時間をかけて向き合っており、それが大きな魅力だと思います。丁寧に説明して「ありがとう」と言ってもらえた瞬間に、このまちで働いて良かったと実感します。暮らしの面でも、大阪に電車や車で出やすく、ゆったり暮らしたい人には、本当におすすめできるまちです。自然や歴史、文化も身近に感じられて、仕事も生活も両方大切にしたい方にはちょうどいい環境だと思います。

1日のスケジュール

- 8:30 出勤・始業
住民の皆さまを迎える準備をします(記載台や窓口の整理整頓、レジの準備)。
- 9:30 窓口業務・公用請求事務
窓口業務を行いつつ、他市町村からの公用請求を処理します。
- 12:00 昼休み
同期とお昼ご飯を食べます!
- 13:00 窓口業務・外国人登録事務
窓口業務を行いつつ、外国人の方の特別永住者証明書を出発国に留管理庁に申請したり、外国人人口を警察署へ提出します。
- 17:15 退勤
記載台・窓口の整理やレジの閉め作業、書類の片付けを行います。

満天の星空と大宇陀温泉あきののゆは、ぜひ皆さまに味わってほしいです。



採用に関するお問合せはこちら

宇陀市人事課
TEL.0745-82-1303
平日 8:30~17:15



住民の声を形にした仕組みが、皆さまの笑顔につながる瞬間にやりがいを感じます。

Q 入庁の動機・きっかけは？

私は元々民間企業への就職をめざしていましたが、地域に密着する地方公務員の仕事に魅力を感じ、方向転換を行いました。就職先をネットで探しているときに偶然「からす天狗のてんまる(山添村のキャラクター)」を見つけ、あまりのかわいらしさから好きになり、それからネットで山添村を色々調べようになりました。SNSやホームページで山添村を調べていると、観光や村の活性化に頑張っておられる村民のインタビュー記事や取組内容を拝見し、その活動を少しでもお手伝いしたいという思いから、山添村役場への就職を志望しました。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

私は現在、ふるさと納税と、事業者と一緒に山添村の特産品づくりに取り組む「地域産品創出事業(ぞえ塾)」を担当しています。ふるさと納税では、返礼品を出品いただいている事業者との新商品開発や、返礼品数を増やすため新規事業者や返礼品の開拓も行っています。ふるさと納税を通じて山添村を離れた方や山添村を応援して下さる方に特産品を届けることで、

山添村の魅力を発信しています。ぞえ塾では、事業者と一緒に特産品を開発し、産業の活性化に取り組んでいます。特に私が所属する地域振興課では、住民の皆さまの声を直接聞き、それを形にした仕組みづくりを行っています。その仕組みが暮らしに届き、皆さまの笑顔につながる瞬間に、公務員としての一番のやりがいを感じます。

Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

山添村は、大阪から車で約1時間の距離にある自然豊かな農村です。過疎化はすすんでいますが、農業を始める方や古民家カフェを営む方など、新たに事業を始められる方が増えてきている元気な村です。近隣のまちには車で20分程度で行くことができるので、お買い物にも困りません。人口が約3,000人の村だからこそ、住民との距離が近く、職員一人ひとりの仕事や暮らしに直結します。役場職員として、住民の声を聞き、実行し、成果をすぐに感じる事ができるのは大きなやりがいです。暮らしを楽しみたい方にも、田舎で働きたい方にもおすすめの村です。

1日のスケジュール

- 8:30 始業
メールの確認・返信後、資料作成や事務処理を行います。
- 12:00 昼休み
自席でお弁当を食べながらリラックスします。たまに近くの商店でお昼ごはんを購入しています。
- 13:00 返礼品協力事業者訪問
返礼品協力事業者の事業所を訪問。新規返礼品の相談をします。
- 15:00 委託事業者との打ち合わせ
一緒に業務を行っている委託事業者と返礼品の進捗確認や寄附額増に向けた研究を行い、次回までに「やること」を決めます。
- 17:15 退勤
ふるさと納税のうち合わせと事業者訪問を振り返り、明日の業務内容をリストアップして終了します。

山添村のお米は本当に甘くて美味しく一度食べたら止められないです。



採用に関するお問合せはこちら

山添村総務課
TEL.0743-85-0041
平日 8:30~17:15



子育て世代が働きやすい環境で、仕事にも移住先にも魅力的な村です。

Q 入庁の動機・きっかけは？

御杖村で生まれ育ち、ずっと身近にあった自然や人のつながりに支えられながら暮らしてきました。工業デザイン系の大学で学んでいたため、当初はモノづくりの道に進むことも考えていましたが、地元でのアルバイトや、そこで言われた「若い子が地域に残ってくれたら嬉しい」という言葉が心に残り、地元で貢献する仕事をしたいという気持ちが大きくなりました。大学の恩師から背中を押してもらったこともあり、御杖村の魅力を守りながら未来につないでいく役場の仕事に惹かれ、就職を決めました。

Q 現在の仕事のやりがいを教えてください

村内外へ御杖村の魅力を伝えるPR業務や、年間を通して行われるイベントの運営に携っています。観光マラソンや旧校舎を活用した雑巾がけイベントは大きな行事で、近年は県外や村外の方、地元の子どもの参加が増え、地域が一体となる瞬間にやりがいを感

ずます。多くの人が御杖村を知って、足を運んでくださることが励みです。また、奈良県立大学との連携事業ではふるさと納税の活性化や地域観光PRリポーターなど、村づくりの広がりを感じられる取組も行っていきます。村の未来に関わる仕事ができることに大きな喜びがあります。

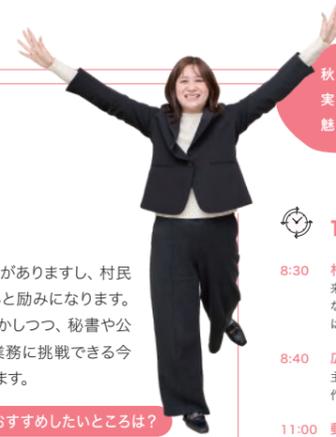
Q これから住む人・働く人におすすめしたいところは？

御杖村は自然豊かな田舎でありながら、道路が整備されています。川や山が身近にあり、子どもがのびのび遊べる環境が整っており、時間がゆっくり流れるような落ち着いた暮らしができます。地域の人たちは温かく、イベントなどでも外から来た参加者に親切に接する姿が印象的です。村内には子どもの一時預かりや村営の英語塾などがあり、子育て世代にも安心の環境が整っています。おいしいお米や野菜、味噌といった地元の食も豊かで、温泉や道の駅など楽しめるスポットもあり、移住先としても魅力的な村です。

1日のスケジュール

- 8:30 村長と本日のスケジュール確認
来庁される方や、出張の出発時間などを確認し、新しい予定があれば共有します。
- 8:40 広報誌制作・代表電話対応など
主に広報誌の割付を考えたり、制作の進捗管理などを行っています。
- 11:00 郵便物仕分け
庁舎内の郵便物の仕分けをしています。業務の名前で郵送されることが多く、各課の業務内容を見えることができます。
- 12:00 昼休み
庁内の女性陣と一緒に色々話をしながらランチをしています。
- 13:00 物品の購入、村長の来客対応、打ち合わせなど
課内で大きな行事があれば、進行や作業内容の打ち合わせを行います。自身の仕事で確認したいことがあれば、その都度相談しています。
- 17:15 退勤

秋の首爾高原はススキで有名ですが、実は夏の深い緑の首爾高原も魅力的ですよ。



採用に関するお問合せはこちら

首爾村総務課
TEL.0745-94-2101
平日 8:30~17:15



採用に関するお問合せはこちら

御杖村総務課
TEL.0745-95-2001
平日 8:30~17:15



市町村職員 の職種紹介

各市町村で採用している主な職種を紹介します。
各職種の職員がそれぞれの専門性を生かして連携しながら、
住民サービスの提供や地域課題の解決に取り組んでいます。

事務職



住民に行政サービスを提供するため幅広い業務を担当します。分野は、税務・財政、福祉・子育て、産業・観光、防災、教育など多岐にわたります。窓口での申請手続き、証明書発行のほか、地域振興やまちづくりに関する制度・政策の企画立案、予算編成なども行います。

建築職



学校や公民館など公共施設の整備や維持管理を担当します。新築・改修工事の企画、設計、施工管理のほか、耐震診断や定期点検、老朽化対策など安全性の確保も重要な役割です。関係部局や民間業者と調整し、地域のニーズに合った施設づくりを行います。

保育士



公立の保育園やこども園で乳幼児の保育・教育を担当します。食事やトイレなど日常生活のサポート、社会性を育む遊びやイベントの計画、発達記録の作成、保護者への連絡などの業務を行います。地域と連携し安心して子育てができる環境をつくります。

土木職



道路や橋などインフラの整備と維持管理を担当します。工事の計画、設計、施工管理などの業務のほか、台風や豪雨災害時には、現場確認や復旧対応を行います。担当した道路や施設が形として残り、住民の安心・安全を守っていることを実感できる仕事です。

保健師 看護師



地域住民の健康づくりや医療・福祉の支援を担当します。乳幼児健診や予防接種、高齢者の健康相談、訪問指導、感染症対策などの業務を行います。健康に関する計画の策定や地域の医療・福祉機関との連携、災害時の応急対応なども重要な役割です。

その他



このほか、社会福祉士、介護支援専門員、精神保健福祉士、学芸員などの募集もあります。詳細は各市町村の採用情報をご確認ください。

奥大和(奈良県南部・東部市町村)の行政情報

奈良県南部エリア

五條市 TEL.0747-22-4001 平日 8:30~17:15 https://www.city.gojo.lg.jp/index.html		御所市 TEL.0745-62-3001 平日 8:30~17:15 https://www.city.gose.nara.jp		高取町 TEL.0744-52-3334 平日 8:30~17:15 https://www.town.takatori.nara.jp/index.php	
明日香村 TEL.0744-54-2001 平日 8:30~17:15 https://www.asukamura.jp/		吉野町 TEL.0746-32-3081 平日 8:30~17:15 https://www.town.yoshino.nara.jp/		大淀町 TEL.0747-52-5501 平日 8:30~17:15 https://www.town.oyodo.lg.jp	
下市町 TEL.0747-52-0001 平日 8:30~17:15 https://www.town.shimoichi.lg.jp/		黒滝村 TEL.0747-62-2031 平日 8:30~17:15 https://www.vill.kurotaki.nara.jp/		天川村 TEL.0747-63-0321 平日 8:15~17:00 https://www.vill.tenkawa.nara.jp/office/	
野迫川村 TEL.0747-37-2101 平日 8:30~17:00 https://www.vill.nosegawa.nara.jp/top/index.html		十津川村 TEL.0746-62-0001 平日 8:30~17:15 https://www.vill.totsukawa.lg.jp/		下北山村 TEL.07468-6-0001 平日 8:30~17:15 https://www.vill.shimokitayama.nara.jp/	
上北山村 TEL.07468-2-0001 平日 8:30~17:15 https://www.vill.kamikitayama.nara.jp/index.html		川上村 TEL.0746-52-0111 平日 8:30~17:15 https://www.vill.kawakami.nara.jp/		東吉野村 TEL.0746-42-0441 平日 8:30~17:15 http://www.vill.higashiyoshino.nara.jp/	

奈良県東部エリア

宇陀市 TEL.0745-82-8000 平日 8:30~17:15 https://www.city.uda.lg.jp/		山添村 TEL.0743-85-0041 平日 8:30~17:15 https://www.vill.yamazoe.nara.jp/life/		曽爾村 TEL.0745-94-2101 平日 8:30~17:15 https://www.vill.soni.nara.jp	
御杖村 TEL.0745-95-2001 平日 8:30~17:15 https://www.vill.mitsue.nara.jp/					

奥大和に興味を持ったら
【採用特設サイト】にアクセス

各市町村が参加するイベントの
最新情報をゲットしよう!



<https://www.pref.nara.jp/site/okuyamato/recruit/index.html>





東部
エリア

南部
エリア

雄大な自然と 伝統・文化が 暮らしのなかに

山岳地帯の南部、高原が広がる東部の19市町村からなる「奥大和」。

山と共に、奥深い歴史・文化・信仰を育んできたこのエリアでは、今なお、自然に近い健やかな暮らしが営まれています。

働く場所としてだけでなく、暮らす場所としても、魅力がいっぱいです。

奥大和〈奈良県南部・東部市町村〉 Recruiting

OKUYAMATO

2026.2

【問い合わせ先】

奈良県総務部知事公室 美しい南部東部振興課

〒634-0003 奈良県橿原市常盤町605-5

TEL. 0744-48-3015